おびひろ市議会だより

№27
令和元年
9月定例会号

雪化粧した川西地区の防風林

●目　次●

定例会の概要	1
一般質問	2～3
議案・決算審査特別委員会の審査概要、本会議での討論、議案に対する賛否	4～5
常任委員会等の動きなど	6

平成30年度各会計決算を審査・認定
帯広空港の一括民間委託に関わる議案などを審査・可決

定例会の概要

帯広市議会は、令和元年第４回定例会を９月10日から10月４日までの25日間の会期で開催しました。

今定例会では平成30年度各会計決算をはじめ、令和元年度各会計補正予算、条例の制定・改正などを審議したほか、20人の議員が一般質問を行いました。

―新総合計画特別委員会が調査の中間報告を行いました―

新総合計画特別委員会は、９月までに計９回の委員会を開催し、調査の中間報告を行いました。今後も調査等は継続して行われます。

↓ 詳しい内容は６ページに掲載

―決算・補正予算などは、それぞれ特別委員会を設置して集中審査―

平成30年度各会計決算等は、特別委員会を設置して集中審査した後、10月４日の本会議で、駐車場事業会計は賛成多数で、その他の11会計は全会一致で、それぞれ認定しました。

↓ 詳しい審査内容は４・５ページに掲載

―議案・陳情を総務委員会に付託―

「議案第１００号 帯広市事務分掌条例の一部改正について」と「陳情第２・３号『日米共同訓練に参加する米軍の輸送機オスプレイの補給拠点としての陸上自衛隊帯広駐屯地の活用に反対する意見書』の採択及び提出について」は、総務委員会に付託し、今後審査を行うことになりました。

令和元年度補正予算・条例等は、議案審査特別委員会を設置して集中審査した後、９月18日の本会議で、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

↓ 詳しい審査内容は４ページに掲載

議会トピックス①

議会を身近に感じていただけるよう、９月10日に議場でコンサートを開催しました。帯広交響楽団『木管五重奏団』が「川の流れのように」など３曲を演奏し、議員のほか、40名を越える市民の皆さんがその演奏を楽しみました。

帯広交響楽団による演奏

第4回定例会に提出された議案

■決算関係（平成30年度決算）【12件】

【議案第85号】一般会計、【議案第86号】国民健康保険会計、【議案第87号】後期高齢者医療会計、【議案第88号】介護保険会計、【議案第89号】中島霊園事業会計、【議案第90号】簡易水道事業会計、【議案第91号】農村下水道事業会計、【議案第92号】ばんえい競馬会計、【議案第93号】駐車場事業会計、【議案第94号】空港事業会計、【議案第95号】水道事業会計、【議案第96号】下水道事業会計

■予算関係（令和元年度補正予算）【7件】

【議案第70、97号】一般会計、【議案第71号】国民健康保険会計、【議案第72号】後期高齢者医療会計、【議案第73号】介護保険会計、【議案第74号】ばんえい競馬会計、【議案第98号】空港事業会計

■条例関係【10件】

【議案第75号】帯広市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について、【議案第76号】地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例制定について、【議案第77号】成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について、【議案第78号】帯広市印鑑条例の一部改正について、【議案第79号】帯広市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について、【議案第80号】帯広市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、【議案第81号】帯広市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、【議案第82号】帯広市建築基準法施行条例の一部改正について、【議案第83号】帯広市都市公園条例の一部改正について、【議案第84号】帯広市水道事業給水条例の一部改正について

■その他【3件】

【議案第99号】帯広空港運営事業等に係る運営者の指定について、【議案第100号】帯広市事務分掌条例の一部改正について、【議案第101号】帯広市教育委員会教育長の任命について

大塚 徹 議員（市政）

西3・9再開発事業の進捗状況は ～マンション棟は約4割の成約～

質 帯広駅を中心とした中心市街地が今後の帯広市のまちづくりに果たす役割についての基本認識を市長に伺う。

答 これまで整備、蓄積してきた都市機能を最大限に生かしながら新たな投資を促すことにより、官民一体となって活力あふれる中心市街地づくりをすすめる。

質 西3・9再開発事業の分譲マンションは昨年度末から既に販売が行われ、ちょうど半年となるが販売状況を伺う。

答 9月10日現在で、57戸と全戸数の約4割の成約と伺っている。

提言 市には、西3・9再開発事業の進捗状況について、市民に逐次知らせる務めがある。

佐々木 直美 議員（立憲）

今、子どもたちに求められていること 高齢社会で生じる歪みとは

質 平成30年度、帯広市には小・中学校合計で166人の不登校児がいる。丁寧に児童・生徒と向き合うためには少人数学級の実施が必要と考えるが市の考えは。

答 少人数学級の実施を国や北海道教育委員会に対して要望していく。

質 不登校を経験した後の社会復帰への支援も必要だが市の取組みは。

答 教育相談センターで相談内容に応じて適切な対応に努めている。

質 市の高齢者犯罪件数の推移は。

答 件数の推移は把握できていない。

提言 生活困窮が高齢者犯罪の要因にもなっている。地域の中で更生を支援する体制の構築などに取り組むべき。

稲葉 典昭 議員（共産）

少子高齢化、人口減少社会の原因には 不安定雇用と低賃金がある

質 人口減少の要因は、非正規雇用の拡大を背景とした未婚化による出生率の低下にある。結婚し、子育てできる雇用環境について市の見解は。

答 結婚・出産後も働き続けられ、安定した収入を得られる雇用の確保など、環境整備に取り組む必要がある。

質 日本の食料とエネルギーの自給率向上に寄与する仕事が、若者に日本を支えているという誇りと気概を生むのでは。

答 食や環境、エネルギー分野の産業振興に取り組み、魅力ある仕事を創出し、若者を引き付ける地域づくりが重要。

提言 マイクログリッドづくりやエネルギー公社などの設立、供給事業の促進を。

大平 亮介 議員（共産）

教育費負担の現状は 子どもの貧困対策計画を

質 学校教育における保護者の私費負担には、学校間で大きな差が生じている。小・中学校の学校徴収金の差の現状は。

答 学校徴収金を学校間で比較した場合、最大で小学校で3・3倍、中学校で3・6倍の差が生じている。

質 子どもの貧困を解決するためには、改善目標の設定や、それを達成するための具体的な計画が必要。国の調査を待つばかりではなく、子どもの貧困対策計画を本市においても早急に策定すべきでは。

答 子どもの貧困対策計画については、今後の国の新たな大綱や全国調査の内容も踏まえ、他市の状況も参考にしながら研究・検討していきたい。

椎名 成 議員（公明）

認知症SOSネットワーク施策について いじめ・自殺対策について

質 行方不明になった認知症の方の捜索について、現場からはSNS等による情報発信が有効な手段ではないかという声も出ているが、市の見解を伺う。

答 情報提供の手段について、プライバシーや個人情報の観点も踏まえ、調査研究していく。SOSネットワークの個人登録については、捜索協力者のチャンネルが広がり、早期発見にもつながり得ることから、地域住民の協力の可能性など、有効な方法について検討している。

質 いじめ・自殺対策としてSNSによる相談を活用する考えは。

答 有効な手段の一つと考える。課題も含め、先進事例などの情報収集を行う。

木幡 裕之 議員（市政）

災害に強い安全なまちづくり・ 帯広市の史跡・大空地区の学校施設

質 災害時のドローン活用の考えは。

答 先進事例も含め、広く調査研究する。

質 災害時に迷子になったペットの識別ができるマイクロチップ活用の考えは。

答 関係機関と連携し、情報収集を行う。

質 史跡標示板がついていない石柱や石碑などについて、今後の設置予定は。

答 総合的な視点から判断し、予算編成を通じ、対応を検討する。

質 築45年を経過した大空中学校の改修内容は。また、小・中両校を解体し施設一体型の新校舎とする場合の費用は。

答 外壁、屋根、トイレ、給排水設備などを更新する。施設一体型の新校舎とする場合の工事費の試算は困難である。

大林 愛慶 議員（立憲）

共働き世帯が増加 子育てできる環境整備を！

質 女性の社会進出の進行で多様な保育需要が高まっている。今後の考えを伺う。

答 仕事と子育てが両立できる環境は重要。第2期おびひろこども未来プランの策定を通し、地域全体で子育てできる環境の整備に取り組んでいく。

質 女性の就業状況は。また、共働きが増加する中、児童保育センターの入所希望の増加も考えられるが、市の見解は。

答 平成27年の国勢調査で25～44歳の女性の就業率は72％であり、就業率は上昇している。児童保育センターは新年度の入所状況を踏まえ、10名程度以上の待機児童が複数年発生すると見込まれる場合は、クラブの増設を検討する。

楢山 直義 議員（立憲）

会計年度任用職員制度導入へ ～非正規職員の無期雇用の一歩に～

質 会計年度[※1]任用職員の任用期間について、4回の再度任用を可能とし、その後も応募を妨げるものではないとしているが上限はあるのか。

答 会計年度任用職員の再度の任用の取扱いについて、上限を設けることが法律上必須ではないものの、平等取扱いの原則や成績主義といった地方公務員法上の基本的な考え方を踏まえる必要がある。このため、業務内容が補助的なものにとどまるものを除き、これまでの嘱託職員制度の標準的な運用を考慮し、公募によらず、選考により採用できる回数は4回までとしつつ、その後の公募については応募に制限を設けない考えである。

林 佳奈子 議員（市政）

小学校における英語教科化 行政課題解決に向けてのRPA導入

質 子どもたちがグローバルな視点で社会を切り開くことを重視した帯広市の外国語教育に関する考えを伺う。

答 国際社会の一員としての自覚を持ち、自国はもとより、諸外国の歴史や文化、伝統について理解を深めていくことは重要。ALTの効果的な活用を図るとともに、教師の授業力の向上に努める。

質 人口減少が深刻化する中、今後想定される行政課題解決に向け、事務処理を自動化できるRPA[※2]を導入する考えは。

答 労働力人口が減少する中でRPAなどの業務への活用の検討をすすめている。市民サービスの向上や、効果的・効率的な自治体運営につながると考えている。

小椋 則幸 議員（市政）

地域コミュニティ 災害に強い安心・安全なまちづくり

質 町内会への加入を促進する条例制定に向けて取り組む自治体もあるが、本市においても加入を促進するために条例化を検討してはどうか。

答 現時点で条例制定に向けた考えは持ち合わせてはいないが、札幌市等の状況も含め、情報収集に努める。

質 災害時のヘリコプターの離着陸可能地は。また、訓練を実施したことは。

答 帯広競馬場と緑ヶ丘公園多目的広場。実際に離着陸の訓練を行ったことはない。

質 訓練が必要ではないか。

答 今後、運航を担う北海道や北海道警察、自衛隊などの関係機関に意見を聞いていきたい。

※1 会計年度任用職員…市役所等で働く臨時・非正規職員は、これまで様々な任用形態にあったが、その大半が令和2年4月より新設される「会計年度任用職員」として任用されることになる。これにより、任用方法の明確化や一部処遇改善などが図られる。

藤澤 昌隆 議員（公明）

自主財源2年連続減少の要因について 大空団地、防犯灯撤去の認識について

質 自主財源が2年続けてマイナスになった要因について伺う。

答 財政調整基金からの繰り入れを行わなかったことや、し尿処理施設の共同整備事業が終了したことにより、諸収入が減少したことなどが主な要因。

質 自主財源確保のため、市営住宅や福祉センターに自販機を設置する考えは。

答 自主財源確保対策検討会議などを通じ、有効性などを見極めていきたい。

質 大空団地改修工事の際に、市が防犯灯を撤去した。防犯の観点から、あってはならない事態だと考えるが市の見解は。

答 指摘を踏まえ、地域住民の声を聞きながら対応していきたい。

今野 祐子 議員（公明）

書籍消毒機の設置要望 幼保無償化に伴い副食費の無償化

質 カビ・ホコリ・花粉などにアレルギー反応を起こす人もいるため、衛生面からも図書館における書籍消毒機の設置を強く要望するが、市の考えは。

答 書籍消毒機は紫外線を使っての殺菌消毒、ゴミや匂いの除去ができるものと認識しており、設置については道内他都市の導入状況を踏まえながら検討したい。

質 保育料は無償化となるが、実費徴収となる副食費について、市で独自に無償とする考えはないのか。

答 幼稚園と保育所間の公平性や自宅で子育てする場合でも同様にかかる費用であることを踏まえ、保護者からの実費徴収としたところ。

石井 宏治 議員（市政）

市発注の工事全般 本市の災害対策

質 委託業務における課内検査の現状は。

答 今年度より希望する事業者には課内検査と本検査の同時実施を試行している。

提言 ダブルチェックのために成果品が増えることがないようにすること、課内検査を実施するのであれば、積算できちんと計上すること、請負工事の課内検査については準備時間の都合上、完成後一定程度の日を置いて行うことを求める。

質 北海道胆振東部地震では、大規模盛土造成地において多くの宅地被害があったほか、液状化による地盤沈下などが発生したが、本市における今後の対応は。

答 今後、国の動向も注視しながら、必要な対応について検討していく。

大和田 三朗 議員（市政）

とかち帯広空港優先交渉権者選定 ～空港ビルのテナント契約～

質 空港ターミナルビルのテナントの契約については、当事者間の協議によるとのことだが、更新や新規契約時に地元企業を優先する条項はないのか。

答 民間の自由な発想とノウハウのもと、経営の効率化を図ることを目的としていることから、運営者とテナントとの契約に、市から条件は設けない考えであるが、地元企業の活用については、折に触れ、配慮を求めていく考えである。

提言 帯広市として、運営を委託する事業者である北海道エアポート株式会社と密に協議し、モニタリングを行いながら、市民にわかりやすい周知などをお願いしたい。

小森 唯永 議員（開政）

ふるさと納税の赤字の責任は

質 ふるさと納税はフードバレーとかちを売り込む絶好の機会であったと納税とセットにして取り組まなかったことは大いに問題がある。原価を差し引くと、平成30年度は約9000万円の赤字、平成29年度も約6000万円の赤字で、両方を足すと約1億5000万円と多額の市税が流出している。この責任をどう感じていないのか。

答 平成30年度の約9000万円の赤字については課題であると考える。ふるさと納税においては、多くの方に帯広市のまちづくりに共感を持っていただけるよう、さまざまな機会を捉えて効果的な情報発信に努めたい。

佐々木 勇一 議員（市政）

日米貿易交渉による帯広・十勝への影響

質 日米貿易交渉は、ある意味農業を犠牲にすすめられてきたといってもはないと考えるが、市はこれまでどのような対策を講じてきたのかを伺う。

答 畜産クラスター事業や産地パワーアップ事業などを活用し、ナガイモ冷凍とろろ製造施設の整備をはじめ、搾乳ロボットや自動給餌機の導入など、農業者の生産性や収益性の向上に向けた支援を行ってきている。

質 今後、帯広・十勝の農業に与える影響をどのように捉えているのか伺う。

答 交渉内容に関し報道されていることから、畜産分野への影響が大きいものと懸念している。

上野 庸介 議員（市政）

「広報おびひろ」の製作方法等の見直しは 丁寧にすすめるべき

質 帯広市は広報おびひろの製作方法等の見直しを検討しているのか。

答 現行のタブロイド判の広報紙の郵送、新聞折り込みなどのポスティングのほか、タウン誌との一体化など、製作と配布の一括委託の可能性についても検討をすすめている。

質 見直しをするのであれば、読者である市民や深いかかわりのある町内会への意見聴取をすべきと考えるが、今後行う予定はあるのか。

答 内容や配布方法など、広報のあり方についてアンケートを行うなど、意見の把握に努めながら検討をすすめていきたい。

杉野 智美 議員（共産）

農業を地域の誇りに

質 十勝農業の経済波及効果は約2兆9千億円とも試算され、帯広のまちづくりに大きな力を発揮している。一方で国の政策に依存するだけでなく、自立した農業政策を展開することが可能と考える。日米貿易交渉の帯広・十勝への影響は。

答 報道されている情報からは、畜産分野への影響が大きいものと懸念している。

質 栄養教諭の食育の取組みと成果は。

答 地域の産業や食文化に関する児童・生徒の理解が深まっている。国や北海道に栄養教諭の配置増を要望していく。

提言 安心・安全な生産物の提供を。グリホサートなどの農薬の情報収集、農業利用等に向けたエネルギーの地産地消を。

鈴木 正孝 議員（無所属）

スポーツを生かしたまちづくり 官民連携による公共施設の管理運営

質 時代の潮流が変化する中でのスポーツを生かしたまちづくりへの認識は。

答 今後も幅広い施策を通し、スポーツが持つ多面的な力を十分に発揮させ、明るく豊かなまちづくりをすすめる。

質 大会や合宿誘致の経済効果等は。

答 宿泊・交通などへの直接的な経済効果のほか、スポーツへの関心を高め、子どもたちに夢や希望を与える機会となる。

質 公共施設の管理運営における官民連携についての市の認識について伺う。

答 民間移管や指定管理者制度の導入、PFI事業などを実施してきた。今後も民間のノウハウを活用し、公共施設の管理運営をすすめる。

清水 隆吉 議員（開政）

熱中症にならないために、 児童保育センターにエアコンを！

質 近年の台風などによる大雨も怖いが、最近暑くなり過ぎる猛暑の日が増え、38度に到達したり、30度が連日続くことがあたり前になってきている。児童保育センターにおける保育室などでの熱中症対策について伺う。

答 運営法人において、小まめな水分補給や気温が高い日には外遊びをしないことの徹底、扇風機などの活用、カーテンや通気により室内温度の上昇を抑えるなどの対策を講じているところ。

提言 子どもは環境を選べない。子どもの健康、そして保護者が安心して通わせることのできる環境の確保のためには、エアコンの設置が必要である。

※2 RPA…これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化する技術。

議員名の下のQRコードについては、スマートフォンなどの専用アプリで読み取ると、各議員の質問の映像がご覧いただけます。

令和元年度補正予算等における主な質疑【議案審査特別委員会】

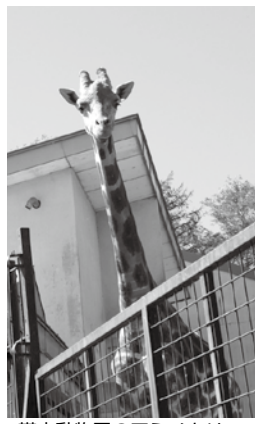
幼児教育・保育施設

○　認定こども園帯広第二ひまわり幼稚園を改修し、2歳児の受け入れ枠が12名分拡大される。今後も低年齢児の入所希望は増えると考えられるため、そうしたニーズも踏まえながら幼稚園、保育所等の整備をすすめていくべき。

動物園

○　多摩動物公園より、繁殖のためメスのアミメキリンを借り受けるが、移送時のストレス軽減を図るとともに、急な環境変化で体調等を壊さないよう飼育方法にも様々な配慮をすべき。

○　動物園の魅力向上のため、中長期的な展望を持ち、計画的に展示動物の導入や施設整備をすすめるべき。

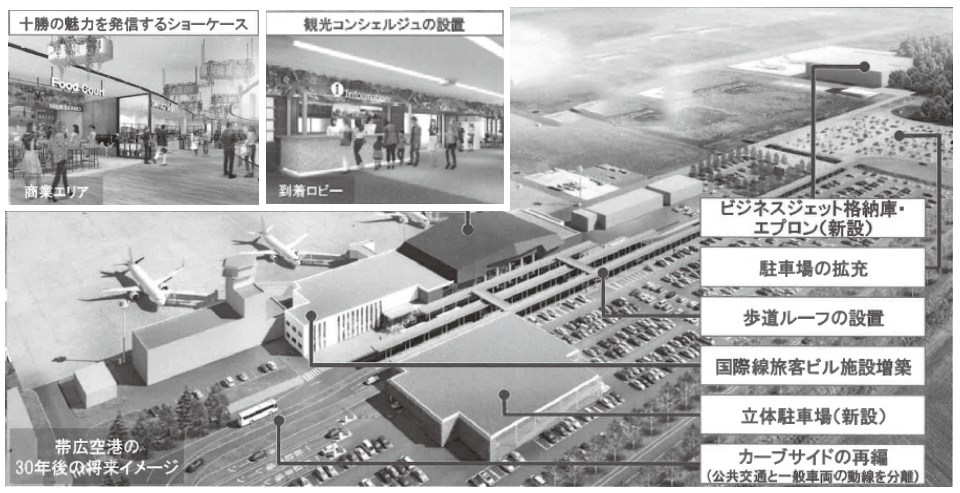


帯広動物園のアミメキリンのメープル（♂）5歳

とかち帯広空港の民間委託

○　令和2年度から、帯広空港を含む道内7空港が民間事業者により一体的に運営され、事業期間30年における市の負担額は約77億円削減されることとなる。

　事業者の提案では、民間委託後に、空港正面への立体駐車場の整備や駐車場の拡充、関西や海外など8路線の新規就航のための取組みを行うこととなっているが、今後も運営者との連携に努め、帯広空港のさらなる活性化のため、市として責任を果たしていくべき。



帯広空港の30年後の将来イメージ

本会議での討論

原案に賛成

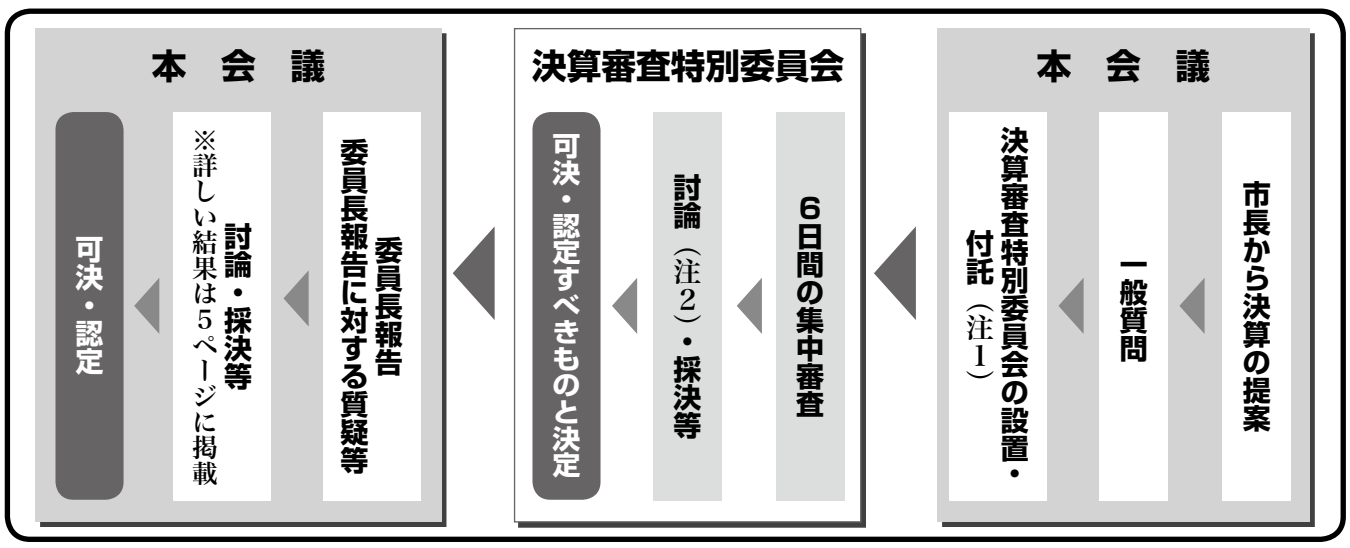
稲葉　典昭　議員（共産）

　帯広市の公共サービスを提供する職員は、正職員が1346名、非正規職員が2440名となっており、実に全職員の3分の2が非正規職員で住民サービスを提供。現在の非正規公務員の最大の課題は、雇用の安定と身分・待遇の保障。今、帯広市の未来にとって最大の課題の一つは、少子化対策。その原因の一つが非正規雇用の増大、不安定な雇用や低賃金であり、官製ワーキングプア問題の解決は喫緊の課題。制度実施の4月までに最善の改善を求める。

決算審査特別委員会の審査概要

　令和元年第4回定例会では、市長から提案された各会計決算について、決算審査特別委員会を設置し、予算が効果的・効率的に使われているかなどの審査を行いました。委員会での主な質疑や審査の概要について掲載します。

【審査の流れ】



審査1日目

防災・安全

○　高齢者や障害者など、災害時に自力での避難が難しい「災害時要援護者」に対しては、支援者の確保や効率的な安否確認が課題となっているため、早急な改善に取り組むべき。

○　高齢化等により、町内会活動の維持が難しくなる中、町内会を中心に組織されている自主防災組織についても、今後の組織のあり方を検討すべき。

市職員

○　市職員の時間外勤務は、大きく増加している状況であるため、職場ごとに要因を把握し、業務効率化を一層すすめ、時間外勤務の縮減を図るべき。

審査2日目

高齢者福祉

○　高齢者は増えている一方、安否確認等の高齢者向けサービス利用者は減っている。高齢者のニーズの変化を捉えながら、本当に必要とされるサービスへの見直しを検討すべき。

児童保育センター

○　入所対象児童を小学6年生までに拡大したにも関わらず、1人あたりの面積基準は変わっていないほか、水回りなどの設備が整っていない施設もある。早急に設備等の充実に取り組むべき。

審査3日目

雇用対策

○　人手不足の市内企業が多くなっていることから、外国人労働者の就労促進や技能労働者の育成などをさらにすすめるべき。

○　UIJターン希望者が求めている市の仕事、教育や医療などの情報を庁内連携により、効果的に発信すべき。

中心市街地活性化

○　中心市街地の活性化は重要な課題である。広小路商店街のにぎわいづくりや、まちなか歩行者天国におけるイベントのさらなる充実に向け、しっかりと支援すべき。

審査4日目

おびひろ極上水

○　おびひろ極上水のおいしさがあまり知られていない。PRを強化するとともに、コンビニなど身近な場所で購入できるよう、販路拡大に取り組むべき。

公園の管理

○　身近な街区公園は町内会が管理の一部を担っているが、高齢化の進行などで負担が大きくなってきている。時代の変化に合わせ、持続可能な管理のあり方を検討すべき。

注1　付託　→　本会議での議決の前に、議案等の検討を詳しく行うため、委員会に審査を委託すること。
注2　討論　→　採決の前に、賛成か反対か自分の意見を述べること。意見の異なる相手を自分の意見に同調させるために行う。

審査5日目

学校トイレ洋式化

○　平成30年度末の学校トイレ洋式化率は67・5％で、今年度も順次洋式化をすすめているが、子どもたちが快適な学校生活を送ることができるよう、早急に改修を行うべき。

スポーツ大会・合宿誘致

○　スポーツ振興や地域経済の活性化に向け、大会や合宿のさらなる誘致をすすめるべき。また、大規模大会は、子どもたちに夢を与え、意識の向上にもつながるよい機会だが、地元住民の観戦が少ないため、より足を運んでもらえるよう、周知を強化すべき。

審査6日目

歳入

○　温泉の入浴時にかかる入湯税は、祭りの開催支援や消防車の更新費用の一部として使われていることを納税者にしっかりと伝え、理解してもらうべき。

討論

○　各会派を代表して、4名が認定・可決の立場で、1名が不認定・反対の立場で討論を実施。

採決

○　9名が認定・可決、1名が不認定・反対し、**委員会として可決・認定すべきものとすることを決定。**

本会議での討論　要旨

不認定および反対

稲葉　典昭 議員（共産）

アベノミクスというゆがんだ経済政策は市民の貧困と格差を広げ、その是正の事業化が予算であり、予算がどのように執行、改善されたかを検証するのが決算審査。年収300万円以下の労働者が42％へ増加。低収入層の増加は、今後のまちづくりに影響を与える。若者の雇用や収入を安定させ、仕事と子育ての両立を促進する社会環境の整備が必要。環境やエネルギー問題への取組みも重要。予算の組替を求めていたことから不認定に。

認定および賛成

西本　嘉伸 議員（市政）

平成30年度の一般会計決算は、前年度と比較し、歳入・歳出ともに減少。要因は国による臨時の経済対策が終了したことなどによるもので、実質収支は黒字となり健全な運営がされていると評価するが、本市を取り巻く環境は財政・人材面でもますます厳しさを増している。持続可能な市政運営のため、将来を見据え明確なビジョンを持ち、市民目線、現場重視を徹底、一つひとつの課題に着実に取り組むことを求め、賛成の討論とする。

議案第85号を不認定

小森　唯永 議員（開政）

市街地再開発事業に関し、議会での説明不足、市民へのパブリックコメントを求めない等の市民への説明不足、また、市営駐車場を格安ともいえる価格で売却したことも考えれば容認できない。

次に、ふるさと納税の赤字である。この3年間で市税は実質2億円を超える額が流出したが、市長をはじめ理事者から反省の言葉を聞くことはなかった。

以上、平成30年度一般会計決算に対し、不認定の立場での討論とする。

認定および賛成

大林　愛慶 議員（立憲）

地域社会の環境変化に的確に対応し、活力ある持続可能な地域づくりにまい進してきたと評価する。人口減の抑制と適応、その中での地域課題の解決をすすめていく必要がある。職員の時間外勤務縮減には業務改善・平準化・適正な人員配置が不可欠である。TPP・EPA、日米貿易協定の影響が危惧され、対策強化が必要。消費税が10％に引き上げられ、格差社会の拡大も懸念される中で、市民生活を守ることを求め、賛成討論とする。

認定および賛成

藤澤　昌隆 議員（公明）

公明党会派を代表して賛成の立場で討論を行う。決算では実質収支、単年度収支、実質単年度収支とも黒字。しかし経常収支比率は90％台であり財政の硬直化は否めない。時間外勤務手当は平成20年度の約2億円から、平成30年度決算では3億3千万円ほどに増加。何が原因なのか精査・検討を要望する。最後に職員の不祥事に関し、市に猛省を促すとともに、全職員に対し、適正な業務執行の指導を責任を持って行うことを強く要望する。

認定および賛成

清水　隆吉 議員（開政）

平成30年度各会計歳入歳出決算について認定の立場で討論する。

本市においても平均寿命が延び、人口減、少子高齢化がすすむ中、限られた予算の中ですべてを賄い、すべてをかなえることはますます難しくなっている。何を守り、何を我慢してもらうのか、しっかりとした説明責任を果たすことが必要。

我慢や納得していただく方法を模索することから逃げてはいけない。一層、市政執行に励むことを要望する。

議案等に対する賛否

賛成・・・○　　反対・・・×　　【※議長の職務を行う者は議事に対し賛否を表明できません】
賛否の分かれたものを掲載しています。その他の議案については、全会一致で原案のとおり可決しました。
すべての案件については市議会ホームページで公開しています。

議案名等		議決結果	1 石橋 勝美 立憲	2 佐々木直美 立憲	3 椎名 成 公明	4 上野 庸介 市政	5 林 佳奈子 市政	6 小椋 則幸 市政	7 鬼塚 英喜 市政	8 大平 亮介 共産	9 菊地 ルツ 立憲	10 大林 愛慶 立憲	11 清水 隆吉 開政	12 今野 祐子 公明	13 藤澤 昌隆 公明	14 大和田三朗 市政	15 木幡 裕之 市政	16 石井 宏治 市政	17 西本 嘉伸 市政	18 杉野 智美 共産	19 楢山 直義 立憲	20 鈴木 正孝 ／	21 稗貫 秀次 開政	22 小森 唯永 開政	23 大竹口武光 公明	24 大塚 徹 市政	25 横山 明美 市政	26 佐々木勇一 市政	27 稲葉 典昭 共産	28 鈴木 仁志 ／	29 有城 正憲 ／
議案第85号	平成30年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	議長
議案第86号	平成30年度帯広市国民健康保険会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第87号	平成30年度帯広市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第88号	平成30年度帯広市介護保険会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第89号	平成30年度帯広市中島霊園事業会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第90号	平成30年度帯広市簡易水道事業会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第91号	平成30年度帯広市農村下水道事業会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第92号	平成30年度帯広市ばんえい競馬会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第94号	平成30年度帯広市空港事業会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第95号	平成30年度帯広市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決および認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長
議案第96号	平成30年度帯広市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決および認定	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長

会派名→　市政／市政会、**立憲／**立憲民主・市民連合、**公明／**公明党、**開政／**開政会、**共産／**日本共産党帯広市議会議員団

常任委員会等の動き
8月～11月

総務委員会

重点調査項目
地方創生・自治体間連携／効果的・効率的な自治体経営の推進／地域防災と市民協働のまちづくり

理事者報告
［8・11月］人口ビジョンの改訂および新たな総合戦略の策定／会計年度任用職員制度の検討状況／帯広市人口ビジョンおよび第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略／第3期十勝定住自立圏共生ビジョン／組織再編の検討／帯広市行財政改革計画／第3期帯広市消費生活基本計画／第3次おびひろ男女共同参画プラン

質問通告
［8月］低投票率対策
［10月］監査委員に対する公開質問状

付託案件
［陳情第1～3号］「日米共同訓練に参加する米軍の輸送機オスプレイの補給拠点としての陸上自衛隊帯広駐屯地の活用に反対する意見書」の採択及び提出
［議案第100号］帯広市事務分掌条例の一部改正

厚生委員会

重点調査項目
環境保全及び廃棄物処理／保健予防・医療及び国民健康保険／高齢者・障害者福祉及び介護保険／子育て支援

理事者報告
［8・11月］帯広市一般廃棄物処理基本計画／第三期帯広市環境基本計画／十勝圏複合事務組合における新中間処理施設の整備検討状況の報告／第三期帯広市地域福祉計画／第三期帯広市障害者計画／第三期帯広市アイヌ施策推進計画／第2期おびひろこども未来プラン

産業経済委員会

重点調査項目
観光振興及び空港活性化／地元企業の振興／農林業及び畜産業の振興

理事者報告
［9・11月］第3期帯広市中心市街地活性化基本計画／第2期帯広市産業振興ビジョン／帯広空港運営事業等優先交渉権者選定結果等／第6期帯広市農業・農村基本計画／農作物の生育状況／帯広市ばんえい競馬運営ビジョン／西3・9周辺地区第一種市街地再開発事業／農村上下水道事業の地方公営企業法適用と一元管理

実地調査
9月2日に、帯広競馬場の施設改修等の状況の調査を行いました。

建設文教委員会

重点調査項目
道路の維持管理／住まい／緑の保全及び公園の維持管理／上、下水道施設の維持管理／学校教育

理事者報告
［8・11月］第2次帯広市都市計画マスタープラン／第2次帯広市みどりの基本計画／おびひろ上下水道ビジョン／帯広市教育基本計画／帯広市立学校に係る部活動の方針／第四期帯広市子どもの読書活動推進計画／農村上下水道事業の地方公営企業法適用と一元管理／大空地区義務教育学校開校の取組み／令和元年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書

議会運営委員会

協議事項
令和元年第4回定例会の運営／令和元年第5回定例会の運営／議会基本条例に基づく取組み／議会運営検討項目

議会トピックス② 新総合計画特別委員会が調査の中間報告を行いました

令和元年6月10日に設置された新総合計画特別委員会では、新たな総合計画の策定にあたり議論を行ってきました。
今回は令和元年第4回定例会（9月定例会）において行われた、調査の中間報告を中心にお知らせいたします。

①【7月】市が総合計画（素案）等を報告
第七期帯広市総合計画（素案）
各施策キャッチフレーズ、目指そう指標（素案）

意見

②【7～9月】委員会で総合計画（素案）等を調査し意見
計7回の委員会を開催。新しい総合計画（素案）、各施策キャッチフレーズ、目指そう指標（素案）に対して様々な意見を述べるとともに、委員間討議による意見の取りまとめを行いました。

②と③の意見を市が計画（原案）に反映

とりまとめ意見の報告

③【9月】本会議においてとりまとめた意見を報告（調査の中間報告） ※要旨の抜粋
- ○ すべての市民の皆さんの幸せを真ん中に置いて、読む人に夢や希望を感じてもらえる計画とすべき
- ○ 間違いなく人口が減っていく中、市民の皆さんと市がこれまで以上に力を合わせてまちづくりをすすめていくため、わかりやすい表現で、市民の皆さんが「やってみよう！」という気持ちになる内容とすべき
- ○ 全国や十勝の中で期待されている役割をしっかりと記載すべき
- ○ 地域の強みや良さを最大限に生かしながら、ゆとりある生活や安心して子育てができるまちをつくるという目標を市民の皆さんと共有できる内容とし、将来の希望や郷土への誇りなどにつなげていくべき
- ○ 将来の人口を市民の皆さんと共有するため、人口の予測を分かりやすく載せるべき
- ○ 農村地域の活性化など、より具体的な都市形成の方向性について記載すべき

調査の中間報告

④【10月】市が総合計画（原案）等を作成
第七期帯広市総合計画（原案）

10月以降も引き続き、第七期総合計画（原案）について調査をすすめています

※各計画、中間報告の全容については、それぞれのQRコードをご参照ください。

編集後記

連続テレビ小説「なつぞら」ロスになっている方も多いのではないでしょうか。十勝帯広の歴史や自然の美しさを再認識する機会となりました。議会では、新総合計画特別委員会が開かれました。10年に一度策定されるこの計画は、市民の皆様の意見を広く反映できるような新しい視点の施策が盛り込まれております。開拓者精神を受け継ぎ、次世代の帯広のために取り組む議会の活動を今後も議会だよりで発信してまいります。

（編集委員　林　佳奈子）

～令和2年第1回（3月）定例会開催予定日のお知らせ～

	開催日時		会議内容
3月	2日（初日）	13時～	本会議
	3日	10時～	議案審査特別委員会
	6日、9日	10時～	代表質問
	10日～13日 ※10日は予備日	10時～	一般質問
	16日～19日、23日～25日	10時～	予算審査特別委員会
	27日（最終日）	13時～	本会議

※日程は現時点の予定であり、変更することがあります。

開催中は会議を傍聴できるほか、インターネットからも見ることができます。

帯広市議会インターネット映像配信　検索

発行／帯広市議会　編集／議会だより編集委員会　発行日／令和2年1月1日
●お問い合わせ／帯広市西5条南7丁目1（帯広市議会事務局）　●TEL（0155）65-4221　●FAX（0155）23-0164　●Eメール　city_council@city.obihiro.hokkaido.jp